

## 国連婦人の10年

### 後半期にあたって

■ 今年は 国際婦人年に続く「国連婦人の10年」(1976年～1985年)の後半期のスタートの年です

■ 昨年デンマークで開かれた国連婦人の10年1980年世界会議において 我が国をはじめ世界の多くの国が「婦人に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」に署名し また「国連婦人の10年後半期行動プログラム」が採択されました

■ この条約とプログラムの中で 国の発展と世界の福祉 平和の推進のために あらゆる分野に 婦人が男子とひとしく最大限に参加することの必要性が強調されました またこの目標を達成するには 家庭や社会での男女の固定的な役割と責任に対する双方の態度を変えていくことが重要であると指摘されています

■ これを受けて 世界の各国が後半期の活動を活発にすすめています

第33回



婦人週間

昭和21年4月10日に 日本の婦人は はじめて国会議員を選挙し 男性と同じく政治に参加することになりました 本年は 婦人参政権行使35周年にあたります

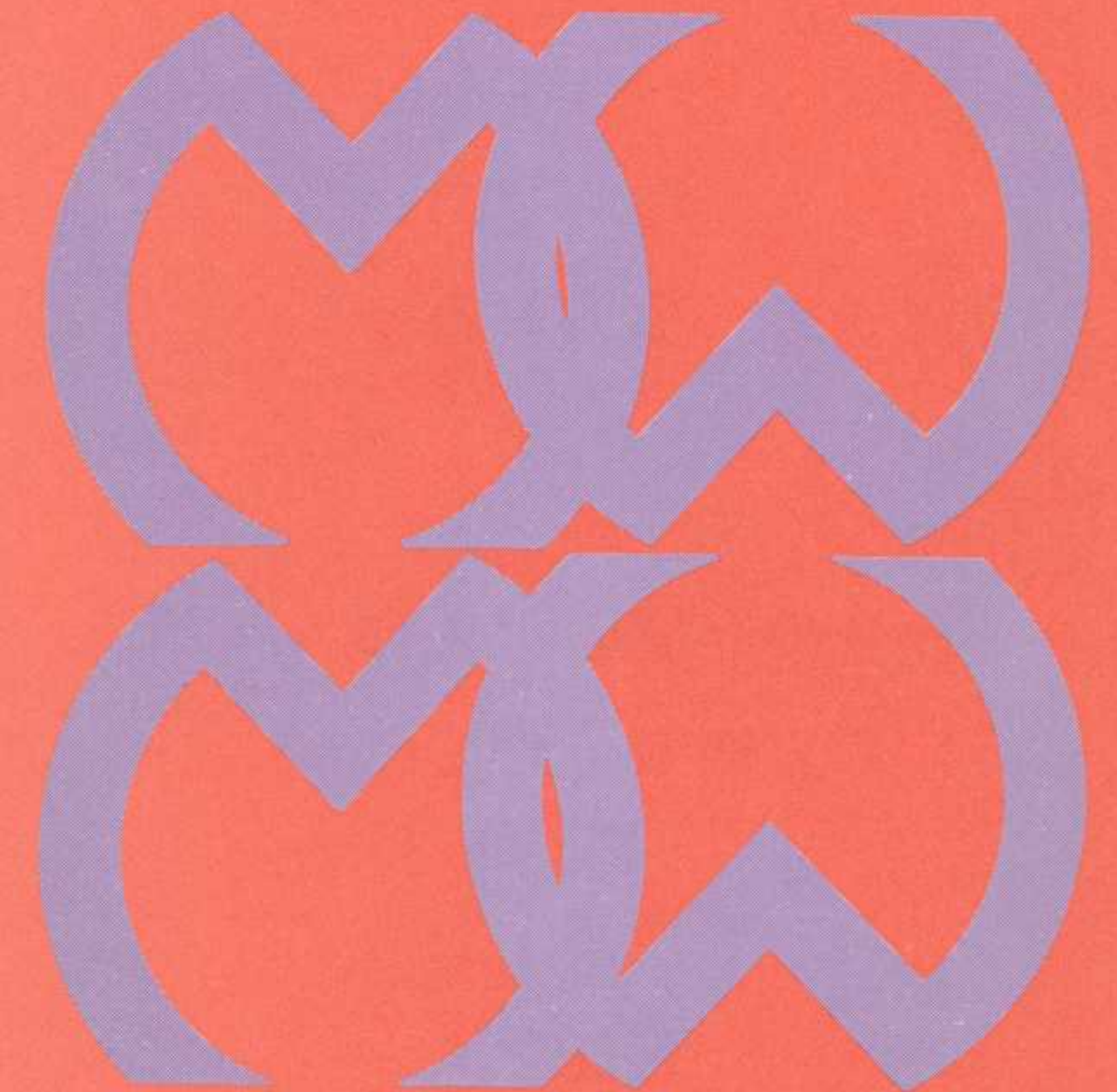
この日を記念して 労働省では 昭和24年以来毎年4月10日から1週間を“婦人週間”として 婦人の地位を高めるための運動を主唱し 本年は 第33回を迎えます

本年はさらに国際婦人年に続く「国連婦人の10年」の後半期に入るところから「国内行動計画」に基づく啓発活動の一層の推進を図るため「あらゆる分野への男女の共同参加—家庭で 職場で 地域社会で—」をテーマとして全国的に運動を展開します

●ご相談ごとは 下記婦人少年室や婦人少年室 協力員へ

## あらゆる分野への 男女の共同参加

—家庭で 職場で 地域社会で—



第33回婦人週間  
4月10日～16日

労働省婦人少年局

## あらゆる分野への男女の共同参加をすすめましょう

男女が

対等な人間として  
たがいに

理解しあい  
協力しあって

社会の発展のために  
あらゆる分野で

役割と  
責任を

共に  
担って いきましょう

男女双方が

■ 人生のパートナーとして  
たがいに  
尊重される家庭

■ ひとしく機会を得て  
能力を  
十分に発揮できる職場

■ 地域の一員として重んじられ  
交流 連帯しあえる  
人間性豊かな地域社会  
を

築くために

私たちの暮らしの中にある  
男女の固定的な役割分担を

共に改めていきましょう

—家 庭 で—

- 家事や育児を女性だけの仕事と決めていませんか
- しつけや教育を男の子だから女の子だからと違っていませんか

—職 場 で—

- 女性は新しい仕事や責任のある仕事に積極的にとりくむ意欲をもっていますか
- 仕事が女子向き男子向きと固定化されていませんか

—地 域 社 会 で—

- 地域をよくするためのさまざまな活動に男女が共に参加していますか
- 地域のしきたりやとりきめは男性優先になっていませんか